

しのわ

市議会だより

平成21年

第44号

2009.10

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町1-1 TEL 39-2322]



援農作業

平成21年
第3回

定例会

9月9日～9月18日
(10日間)

主な内容

- ・議決結果…………… P 2
- ・一般質問…………… P 3～6
　8名の議員が市政全般について質問
- ・委員会報告…………… P 7～9
　総務文教委員会報告
　保健福祉委員会報告
　経済建設委員会報告
　議会改革特別委員会報告
- ・決算審査特別委員会、上下水道条例等
　審査特別委員会設置、事務調査等…………… P 9
- ・議会日誌・編集後記等…………… P 10

平成21年 第3回 富良野市議会定例会議決結果表

議案番号	事件名	議決月日	議決結果
議案第1号	平成21年度富良野市一般会計補正予算(第8号)	9月18日	原案可決
議案第2号	平成21年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	9月18日	原案可決
議案第3号	平成21年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9月18日	原案可決
議案第4号	平成21年度富良野市ワイン事業会計補正予算(第1号)	9月18日	原案可決
議案第5号	政治倫理確立のための富良野市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について	9月18日	原案可決
議案第6号	富良野市特別職報酬等審議会条例の一部改正について	9月18日	原案可決
議案第7号	富良野市屋内水泳プール条例の廃止について	9月18日	原案可決
議案第8号	富良野市スポーツセンター条例の一部改正について	9月18日	原案可決
議案第9号	富良野市屋外スポーツ施設設置条例の一部改正について	9月18日	原案可決
議案第10号	富良野市学童保育センター設置条例の一部改正について	9月18日	原案可決
議案第11号	富良野市営住宅条例の一部改正について	9月18日	原案可決
議案第12号	富良野市公共下水道に関する条例の一部改正について	9月18日	継続審査
議案第13号	富良野市水道事業給水条例の一部改正について	9月18日	継続審査
議案第14号	富良野市簡易水道事業条例の一部改正について	9月18日	継続審査
議案第15号	富良野市表彰条例に基づく表彰について	9月9日	原案同意
議案第16号	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	9月18日	原案可決
議案第17号	富良野市公平委員会委員の選任について	9月9日	選任同意
質問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	9月9日	適任
認定第1号	平成20年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第2号	平成20年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第3号	平成20年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第4号	平成20年度富良野市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第5号	平成20年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第6号	平成20年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第7号	平成20年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第8号	平成20年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第9号	平成20年度富良野市水道事業会計決算の認定について	9月9日	継続審査
認定第10号	平成20年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について	9月9日	継続審査
報告第1号	平成20年度健全化判断比率について	9月9日	報告済
報告第2号	平成20年度資金不足比率について	9月9日	報告済
報告第3号	株式会社富良野振興公社の経営状況について	9月9日	報告済
報告第4号	株式会社ふらの農産公社の経営状況について	9月9日	報告済
報告第5号	株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況について	9月9日	報告済
報告第6号	専決処分報告について(平成21年度富良野市一般会計補正予算第7号)	9月9日	原案承認
意見案第1号	道路の整備に関する意見書	9月18日	原案可決
意見案第2号	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書	9月18日	原案可決
その他会議に付した事件	所管事項に関する委員会報告		
	・事務調査報告(総務文教)	9月9日	調査済
	・事務調査報告(保健福祉)	9月9日	継続調査
	・事務調査報告(経済建設)	9月9日	継続調査
	・都市事例調査報告(経済建設)	9月9日	調査済
	議会改革特別委員会報告	9月9日	継続調査
	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告(平成20年度5月分、平成21年度5月分～7月分)	9月9日	報告済4
	閉会中の所管事務調査について(総務文教)	9月18日	許可1
	閉会中の都市事例調査について(総務文教・保健福祉・議会運営)	9月18日	許可3

一般質問



市内学校手洗い場

広瀬寛人
(無所属)

全国学力・学習調査結果活用

問 本年で3回目の調査結果をどの様な分析活用に結びつけているか。

答 課題解決に対して、先生方が情報を共有する。様々な角度から児童生徒の学習状況を把握する。学力調査と学習状況調査との関連性を検証し、指導のあり方や生活指導の改善を検討する。学ぶ意欲を高める授業の工夫改善を図る。早寝、早起き、朝ご飯を摂る習慣を身につける。読書に親しむ環境づくりに工夫

する。計画的な予習・復習に取り組む。

その結果からどの教科も昨年の平均正答率を上回っている。

全国の平均正答率との差も縮まつてきている。小学校では全道の平均正答率を上回っているが、活用に関する問題について全国より低い状況になつてゐるため授業の工夫に努める。

小中学校の保健衛生環境

問 インフルエンザ対策を含むうがい・手洗い・歯磨き等の環境整備は。

答 手洗いやうがいの励行、更にアルコール消毒液を各クラスに配置して対策を講じているが給食後の歯磨き推進については現在市内の各学校で行つていなが、口腔衛生上は虫歯予防や口臭予防等重要なと考へるので、今後各学校の手洗い場の蛇口等の環境等の確認を含め協議していく。

問 食育の視点から給食時間の実態把握はされているか。

答 市内大規模中学校につきまして、給食時間の拡大について、給食教育の視点から検討する。

宮田均
(無所属)

協会病院跡地、マルシェ構想

問 ふらのまちづくり株式会社が行うこの計画と当初の基本計画との違い、市民周知、市民意見の聴取について。地代、その他整備の考え方について。

市は開発の保証人になるのか。



フラン・マルシェ工事始まる

緑の基本計画による緑化推進

本来は月々約44万円である。開発の保証は会社取締役の個人保証と伺つてゐる。

問 「ある面では街中に緑が少ないですね」とおっしゃる方がいます。市民参加型の独自性を訴える植栽方法、良好な樹木、樹木の保全、計画目標などの進捗状況と今後の取り組みは。

答 都市公園目標値は92・7haに対し、45・1haに留まっています。「都市計画マスター・プラン」「緑の基本計画」を見直し、課題を整理し、公園緑地の整備推進と緑地の保全に取り組む。

緑町学童保育センター

問 定員20名に対し入所者61名である。狭隘であり、安心、安全に問題がある。

答 旧旭川地方法務局富良野出張所跡地を平成22年取得し、平成23年開設できるよう協議を進めている。狭隘緩和策として、居住地近くの学童保育センターへの利用をお願いする。

早期新施設開設に向けた協議を進める。

覚 幸 伸 夫

(民主クラブ)

農業振興拡大を!



食料流通体制の整備

問 食料供給対策については、富良野市の産地として、食料供給体制の充実強化が必要であると考えるが、特に農産物の加工が雇用創出、地域経済の活性化に有効と思うが、考えを伺う。

答 本市の食料供給体制の強化については、国内の消費動向の食の外部化が進み、加工、業務向けの安心・安全で高品質な農産物を消費地につなぐため、产地としての流通体制の整備や施設の再編整備は農業団体などの

問 食料供給対策については、富良野市の産地として、食料供給体制の充実強化が必要であると考えるが、特に農産物の加工が雇用創出、地域経済の活性化に有効と思うが、考えを伺う。

答 本市の食料供給体制の強化については、国内の消費動向の食の外部化が進み、加工、業務向けの安心・安全で高品質な農産物を消費地につなぐため、产地としての流通体制の整備や施設の再編整備は農業団体などの

問 木材供給の拡大について、道内産の木材利用に向けて市民、企業への啓蒙を図るべきと思うが、また、森林整備事業の拡大による雇用創出を伺う。

答 木材供給の拡大については、道産のカラマツなど需要が拡大しており、本市では地産地消を推進し、学校の建築材としても活用され、地域材のPRを市民や企業に啓蒙を図つて行く。また、道の森林整備事業による取り組みで雇用の確保を行う。

問 木材供給の拡大について、道内産の木材利用に向けて市民、企業への啓蒙を図るべきと思うが、また、森林整備事業の拡大による雇用創出を伺う。

問 第4期介護保険事業計画の特別養護老人ホームの現状は。

答 増設は、23年度整備、24年度開設に向け準備を進め、利便性から市街地近郊に検討しており、市に対して要望書が提出されている。

高齢者福祉の介護施設

問 第4期介護保険事業計画の特別養護老人ホームの現状は。

答 増設は、23年度整備、24年度開設に向け準備を進め、利便性から市街地近郊に検討しており、市に対して要望書が提出されている。

経営状況を勘案し、国の補助制度を活用して取り組んで行く。また、農産物の加工施設による雇用創出は設備投資などリスクも大きいが、地元業者、外部の企業参入に努めて行く。

千葉健一

(民主クラブ)

レンタカーの交通事故抑止は

問 観光は、本市の基幹産業の一つである。観光客の入込み数は市内の経済に与える影響も大きいものと思われる。近年はレンタカー利用での観光が増加し、事故も増えている。特に外国人の方々の利用も増え、習慣の違いや、言葉の違いなどから事故の発生も増えてきている。

富良野署によると、署管内でも今年は外国人レンタカー利用者事故が7月16日現在で9件発生、うち人身事故は3件との事で、富良野署はレンタカー業者に、交通事故防止の呼びかけをしたこと聞く。本市も国内外から多くの観光客誘致に力を入れていることから、今後憂慮すべき課題の一つと思うが市の見解は。

富良野を訪れる観光客の多くはレンタカー利用者と認識。道の調査では、特に富良野・美瑛地域は、ドライブでの外国人が多い。富良野沿線では毎年、

問 第4期介護保険事業計画の交通指導員研修を

答 全道、上川支庁地区、沿線と研修会は開催されている。だが、参加困難なことが多く参加できていない状況である。このことから、新任の指導員を対象とした基礎的な研修は必要と考

夏のラベンダー作戦を展開。今後も関係機関、団体と連携、交通安全の啓発を行い事故抑止に努める。



児童を対象に自転車の指導風景

一般質問

佐々木 優
(日本共産党)

投票時間の変更は有権者優先、周知徹底が必要

問 投票率の向上は選管として最も重要な仕事。今回の選挙から7カ所の投票所で投票時間が短縮された。変更を知らずに投票できない事態が発生した。

公職選挙法では「選挙人の投票に支障を来たさないと認められる特別の事情がある場合に限り、繰り上げることができる」となっている。有権者の投票する権利が、最大限に優先された上での判断でなければならない。

答 厳しい行財政環境下での、選挙の効率化・負担軽減などの検討を行った結果、同規模の投票所にあわせて変更を行つた。周知方法を伺う。

答 聞折り込み・入場券で知らせた。周知方法は、広報ふらの・新

答 今後の具体的な対応策は、方法について今後研究していく。



一票を投じる市民

大栗民江
(公明党)

どうする?女性のがん対策

問 乳がんは、1年間に約4万人が罹患、1万人以上が死亡する。富良野市健康増進計画で、

平成14年から16年の女性のがん死亡数の第1位は乳がん。早期発見が重要。検診受診率の推移

は。受診拡大のための取り組みは。乳がん触診モデルや自己検診グローブ・シャワーカードの活用について見解は。

答 19年度14・0%、20年度17・2%。受診日を増やし拡大をすすめていきたい。乳がん触診

変えられる農地法、見解と今後問 現行農地制度は、戦前、農民の命がけの戦いにより確立され、農地の所有権は耕作者自らにあることを基本としている。しかし、改定される法律の柱は、農外企業や外国資本にまで農業の参入を自由化、さらに賃貸借期間を50年まで可能となり、事実上農地の所有を認めたところにある。見解を伺う。

答 自給率の低下や食品の安全性の問題が根底にあり、この対策の一環である。

問 許認可、監視・指導・勧告など農業委員会の責任は重くる。体制の強化が必要である。

答 今後、関係機関と協議する。



継続が期待される無料クーポン

モデルやグローブと浴室で利用可能な自己検診法を図で示したカード等の紹介をすすめて行く。

問 子宮頸がんは、20歳代~30歳代の若い女性に急増しているがん。検診が最大の予防法。親御さん世代の認識も必要。検診受診状況と課題の認識は。受診率向上についての対策は。

答 19年度11・5%、20年度13・3%。今年度から妊婦検診受診券検査項目に含まれ、機会が増えている。出産後の継続受診について、乳児健診の機会を活用し新たに働きかけて行きたい。

問 民間施設等で、杖を掛けるバーやフック等が設置され、手作りの器具を設置している自治体も増えてきた。ささやかではあるが、本市の高齢者・障がい者への思いやりのあるサービスとして、杖フック設置の考えは。

答 杖を使う方たちへの何気ない気遣い、こころ配りが市民サービス向上につながるものと考え、窓口カウンター、洗面所、トイレ等に器具を順次設置する。

一般質問

東海林 剛
(民主クラブ)



ラベンダー畑

新総合計画策定にあたっての市長の基本姿勢は

富良野は農業を基幹産業として発展してきた。また、ラベンダーの咲く夏には、全国から観光客が訪れるまちとなつた。しかし一方では、市内経済の落ち込み、若い世代の市外流出をくい止める事の出来ない雇用環境、少子高齢化の進展による産業全体の担い手不足等、厳しい経済環境から派生する多くの課題を抱えている。市長は就任以来3年半を経過した。

行政手腕は高く評価するものであるが、財政健全化と、まだ形の見えない農村観光都市形成のほか、目指すべき市長の理念は見えてこない。市長ご自身による能登市政の検証と、新総合計画策定にあたっての思い(理念)について伺う。

本市は今後、人口減と少子高齢化が一段と顕著になる事が予想され、市内の活力となる労働生産性の向上に大きな影響が懸念される。

基幹産業の農業、農業と連携する観光、さらには商工業、企業振興、雇用対策、移住定住対策などを複合的に取り組む事で経済力の向上につながるものと考えている。

また、福祉、医療、子育て支援や教育など、富良野市に住んで良かったと言えるまちづくりを進めなければならない。

新総合計画の策定に当たつては、これらの状況を再確認し、これから富良野市を展望する中で、中長期の視点に立つて、計画の策定に取り組んでいく所存である。

長い行政経験に裏打ちされた行政手腕は高く評価するものであるが、財政健全化と、まだ形の見えない農村観光都市形成のほか、目指すべき市長の理念は見えてこない。市長ご自身によ

横山久仁雄
(市民連合)

橋梁点検と長寿命化修繕計画の進捗状況は

本市が管理する市道橋梁は、その数261橋に及ぶ。老朽化し修繕、架け換えが必要な橋も多い。

国は橋梁の点検と、長寿命化修繕計画を策定する自治体に支援することにしているが、本市の点検と計画策定の進捗状況は、わりデーターの整理と確認作業を行つてている。

問 計画策定時期は。

答 策定時期は本年度分を含め3~4年を目途の予定。

山部川橋の架換えは

昭和26年に架けられた同橋は半世紀を経過し、老朽化が著しく進行している。

これまで通行車両の重量制限、全面通行止め、その後歩行と自転車のみ通行可となつた。車両は現在も通行止めのまま。生活



早期架換えが望まれる山部川橋

答 長寿命化修繕計画の中で具體化を図る。

時期は、平成23年度以降の新総合計画の早い時期と考えている。

問 整備橋梁での優先順位はどこに位置づけられるか。また架け換えの時期は。

答 新型インフルエンザ対策につ

いて

総務文教委員会

■市民参加のまちづくり

「市民参加手続き」の事務調査について報告致します。

地方分権時代における「まちづくり」の基本である情報共有と市民参加を定めた「富良野市

情報共有と市民参加のルール条例」は平成17年7月に施行され4年が経過しました。

情報の共有と市民参加手続きに必要な事項を定め、住んでいて良かったと実感できるまちを市民と市がともに考え作り上げることを目的としています。まちづくりに必要な情報の共有と、市の仕事に対する市民参加の手続きを定め、実施を市に義務付けすることにより市民参加の機会を保障することによって、市民によるまちづくりを実践するためには制定されました。

「情報は市民のもの」を合言葉に、20年度までの延べ対象は86件、1つの市の仕事に複数の手続きも可能で、実施数148件、参加者数はアンケート数も含め



図書館に設置の市民参加手続コーナー

4,464名、意見提出が行われたのは33件でした。

委員会では、提供される情報

が市の意思形成の前の段階か具体的方針の決定後なのか。議会に提案されているにも関わらず

市民参加手続きが行われなかつた事例など議論が集中しました。

ルール条例や市民参加手続きの考え方・目的が市民や行政に定着しつつも、市民参加手続きの効果を發揮するため一層の定着が望れます。具体的な運用

は、富良野市市民参加制度調査審議会において検討を願い、市民の意見が反映させることができない時期に参加手続きを実施することに工夫すべきであると結論の一一致を見ました。

保健福祉委員会

■児童虐待防止対策は

本委員会では、担当部局より資料の提出並びに説明を求め、特に児童虐待防止対策と、こども

も通園センターに対する調査を進めています。

本市における児童虐待防止対策については、保健福祉部のこども未来課の担当で、富良野市要保護児童対策地域協議会を設置し、関係機関と連携して対応しております。また、こども通園センターについては、障がい児の早期療育事業として、必要な相談支援及び発達支援を行っているところです。

委員会では、担当の説明や資料に基づき数回の委員会を開催。特に児童虐待についての活発な議論がなされ、何故虐待が起きるのかなど主に発生する原因や

防止策についての議論が交わされました。

過去の相談件数の中には、育児放棄などもあるようです。

また、療育事業のこども通園センターは、南富・占冠の子ども達も通園されており、それぞれの支援を行っています。

次回の委員会では、こども通園センターの視察を予定しており、現場の状況や担当職員の方々から実情の声なども聞くつもりでいます。

尚、今後は各事業に取組んでいる先進都市の事例調査を実施し、児童福祉に関する調査をさらに深めたいと思いますので、今回は中間報告とし、継続調査といたしました。

経済建設委員会

■農業担い手対策は喫緊の課題

本委員会では、農業担い手対策を事務調査のテーマとし、本市の現状把握とともに、都市事例調査も実施いたしました。

富良野農業の持続的発展を支える担い手の育成は、農業だけ

ではなく、観光や雇用への影響など、富良野経済にとつても大きな課題です。本市の販売農家戸数は平成20年で762戸から、25年には572戸になると推計されています。これは、経営不振だけではなく、後継者不在と経営者の高齢化が要因であり、富良野農業を支える担い手の育成は重要かつ喫緊の課題です。

■都市事例調査で意見交換

調査地は、鹿追町、幕別町、平取町、恵庭市で、いずれのまちも農業者の高齢化が進み、若い後継者の不足が深刻な課題となつております。手育成に緊張感をもつて取り組んでいます。委員会における意見交換の新規参入者への対応では、研修から就農、更にその後の支援体制など、より有効で体系的な仕組みづくりが必要。富良野のネットワークは他地域と比べると有利な条件にあり、より積極的に取り組むべきである。担い手育成は、行政、JA、その他農業関連機関が一体化した、温度差のない取り組みが必要であるなどの意見がありました。また、

経営者としての資質向上のための研修事業のあり方や、経営継承も議論のたたき台として取り上げ多岐にわたる意見が交わされました。

■市内新規参入者の現地調査

経営を開始している新規参入者3名、研修中の新規参入希望者3名について現地に伺い、聞き取り調査を行いました。就農に至った動機、目指す姿、資金力などは多様であり、画一的な就農システムでは対応できない事を感じましたが、就農している3名ともに地域に溶け込み自信を持つて営農している姿は調査を進める上で勇気づけられるものでした。



新規就農農家現地調査

経済建設委員会都市事例

次に都市事例調査を報告します。

■鹿追町産業後継者対策

農業に限らず、商工業などに意欲を持って研修に取り組む原則20歳以上の独身女性を対象に産業研修生受入事業を実施。宿泊施設と交流施設を整備し、地元の青年達との交流を通じ研修終了者108名の内19名が結婚し定住に至つており、花嫁対策としても効果が上がっています。

■幕別農村アカデミー

幕別町農業振興公社は、1町4JAで構成され、職員は町から3名、JA2名、非常勤職員1名、

担い手専門アドバイザー1名で運営。事業内容は、担い手育成確保、農地流動化対策、農業情報システム構築の3つがあります。特徴的なのは幕別農村アカデミーで、習熟度に応じた3コースがあり、中堅農業者の資質

■平取町新規就農者対策

新規参入希望の研修生の受入は、意欲、配偶者の協力、自己資金力などの選考を経て、農家研修、町の実践農場で栽培研修、3年目の秋に就農という流れになっています。課題は、トマトの施設栽培のため初期投資が過大である事、就農支援資金の借入れにおける連帯保証人の確保が難しい事などです。

■道央農業振興公社の広域対策

道央農業振興公社は恵庭・江別・千歳・北広島の4市と2JAで設立され、担い手別の育成事業、農地の利用調整事業などを業務としています。4つの担い手支援センターを農協内に置き、就農に関する全てをワンストップ窓口で対応しています。

議会改革特別委員会

■2回目のラジオ市議会

本年第1回定例会からスタートしたラジオ市議会は、引き続き第2回定例会も放送され、ア

委員会の動き

■富良野市議会初の議会報告会
公聴広報活動の大きな課題で

意見、要望については12件の回答が寄せられました。分りやすく伝えていて工夫されていると思う。印刷物とは違つて、生の声、息づかいなどが伝わり審議に対する真剣さを感じる。という声の一方、シナリオ通りの答弁調整が行われているのではないか、議論のやり取りが芝居の様でリアリティがない。インターネット放送は全部動画で配信して欲しい。富良野の公式ホームページから聴けるほうが良い。議会の言葉は専門的で、私達主婦には分かりませんという声もあり、今後の参考にしたいと思います。

ただ、富良野市議会の一般質問は、内容を通告し、その質問意図に対しての聞き取りは行わっていますが、答弁のすり合せやシナリオは一切ありません。



議会改革麻町報告会

ンケート調査も実施致しました。放送の認知度は前回調査と比較すると、ラジオ放送が45%から90%、インターネット放送が12%から70%と向上しています。

意見、要望については12件の回答が寄せられました。分りやすく伝えていて工夫されていると思う。印刷物とは違つて、生の

声、息づかいなどが伝わり審議に対する真剣さを感じる。とい

う声の一方、シナリオ通りの答弁調整が行われているのではないか、議論のやり取りが芝居の様でリアリティがない。インターネット放送は全部動画で配信して欲しい。富良野の公式ホームページから聴けるほうが良い。議会の言葉は専門的で、私達主婦には分かりませんという声もあり、今後の参考にしたいと思

ある議会報告会は、7月14日に麻町連合会で開催し、議会改革を中心と本委員会の取り組みを報告し、議会について率直なご意見を頂く事が出来、議会が住民の皆様と直接対話する事の意義を改めて感じました。ここでも議会はセレモニーの場ではなくかという意味の発言もありました。

したが、富良野市議会は本会議を開催の議論の場として尊重し、本会議の議論を通じて結論を導き出す事を第一義としています。

議会報告会は、9月28日北の峰連合会で2回目となりました。現在は、モデル的に実施していますが、出来る限り早い時期に議員全員による報告会に移行し

て参ります。議会は住民の代表機関であり、議会改革は代表機

決算審査特別委員会

平成20年度決算審査特別委員会を設置

◇平成20年度の一般会計外各会計決算が、監査委員（松浦惺氏、横山久

仁雄氏）の審査を受け、認定を受けるため第3回定期会に提案されました。

【一般会計・特別会計】

・一般会計歳入歳出決算

・国民健康保険特別会計

・介護保険特別会計

・老人保健特別会計

・後期高齢者医療特別会計

・公設地方卸売市場事業特別会計

・公共下水道事業特別会計

・簡易水道事業特別会計

・企業会計

・水道事業会計決算

・ワイン事業会計決算

◇本議会では、各会計の決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く議員16名による特別委員会を設置

委員会構成は次のとおり。

関として必要な議会の機能を高める取組みと認識しています。

し、閉会中の継続審査としました。なお、初日の定期会終了後に委員会を開き、委員長に岡本俊委員、副委員長に岡野孝則委員をそれぞれ選出しました。

◇また、9月18日の定期会閉会後に委員会を開催し、各所管にかかる審査日程及び決算審査に必要な審査資料を決定するとともに、20年度決算の総括説明を受けました。

【各所管審査日程】

11月4日 (水)	保健福祉部・看護 専門学校・経済部
11月5日 (木)	建設水道部 教育委員会
11月6日 (金)	総務部 歳入総括
11月20日 (金)	予備日

※上記日程にて傍聴できます。

上下水道条例等審査特別委員会を設置

◇今回提案された「富良野市公共下水道に関する条例」及び「富良野市水道事業給水条例」並びに「富良野市簡易水道事業給水条例」の一部改正を閉会中に審査するため、上下水道条例等審査特別委員会が設置されました。

委員長 宍戸 義美 副委員長 岡本 俊
委員 佐々木 優・大栗 民江・天日 公子・岡野 孝則・東海林 剛

議会日誌

8月

- 3日・広域連合議会臨時会
- 5日・議員協議会
- 12日・議会改革特別委員会
- 20日・保健福祉委員会
- 26日・経済建設委員会
 - ・保健福祉委員会
 - ・議員協議会
 - ・議員塾

9月

- 2日・第3回定例会告示
- 4日・議会運営委員会
 - ・代表者会議
- 9日・第3回定例会(1日目)
 - ・決算審査特別委員会
- 14日・第3回定例会(2日目)
 - ・総務文教委員会
 - ・経済建設委員会
- 15日・第3回定例会(3日目)
 - ・議会運営委員会
 - ・議会改革特別委員会
 - ・議会広報特別委員会
 - ・経済建設委員会
 - ・保健福祉委員会
- 18日・第3回定例会(4日目)
 - ・決算審査特別委員会
 - ・議会改革特別委員会
 - ・上下水道条例等審査特別委員会
 - ・総務文教委員会
- 28日・議会改革特別委員会報告会

10月

- 1日・議会広報特別委員会
- 2日・上下水道条例等審査特別委員会
- 5日・議会広報特別委員会
- 6日・富良野沿線市町村議会議員研修会
- 8日・保健福祉委員会
 - ・議会広報特別委員会
- 9日・総務文教委員会
 - ・議会改革特別委員会
- 13日・経済建設委員会
- 13日～15日
 - ・保健福祉委員会
 - ・都市事例調査

委員会の動き

- 各委員会では議長の許可を受け、閉会中次の事務調査・都市事例調査を行います。

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第4号	移住定住対策について

●都市事例調査

委員会名	調査件名	調査地
総務文教委員会	移住定住対策について	伊達市
保健福祉委員会	生涯学習について	函館市
議会運営委員会	児童福祉について	釧路市、中標津町
	議会運営について	埼玉県鶴ヶ島市、神奈川県大磯町

可決された意見書

●道路の整備に関する意見書

(今 利一 議員外6名)

●現行保育制度の堅持・拡充と 算の大増額を求める意見書

(佐々木 優議員外5名)

◇第3回定例会に議員提案された意見書は次の2件です。
いずれも可決後、直ちに関係機関に送付しました。

傍聴してみませんか

【日程】

- | | |
|-----------|------|
| 12月8日(火) | 開会日 |
| 12月14日(月) | 一般質問 |
| 12月15日(火) | 一般質問 |
| 12月16日(水) | 予備日 |
| 12月18日(金) | 最終日 |

開催日は変更する場合がありますので傍聴の際は、日程をご確認ください。多くの方の傍聴をお待ちしています。

問い合わせ／☎39-2322(議会事務局)

▼選挙は、民主主義の基盤。民意を政治に反映させるための重要な政治参加の場です。投票率は民主主義の発展度合いを表す数字とも言えます。最近の国政選挙の投票率は50%台と低迷が続いていましたが、今回の衆議院議員総選挙では70%弱まで高くなりました。



編集後記

選挙によって政権が変わり、政治が変わります。そして、その政治は暮らしに直結します。

こうした経験を通して議会制民主主義が表向きの言葉ではなく、本当に、国民に根付いて行くものと確信します。

▼国会は国民、市議会は市民のものです。暮らしに一番近いところにある議会です。市民の意見や願いが議会を通して行政に届けられる。そうしたことを、

一人一人の市民が実感できる身近な議会をめざして努力をしなければなりません。

▼FMラジオによる議会放送、また、試験的な取り組みですが、一つの手法として地域会館において議会報告会を行っています。議会についてご意見をお寄せ下さい。

議会広報特別委員
佐々木 優